

## CONTENTS

- ・ごあいさつ・メッセージ/役員ご紹介 ----- 2~3
- ・2024年度事業報告 ----- 4~5
- ・教育研究実践論文 ----- 6
- ・ステキな先生ご紹介 ----- 7
- ・ジブラルタ生命学校担当者エピソード ----- 8

# 教弘会報

# NARA

2025. 夏号



## 川上村立かわかみ源流学園

川上村は大峰山脈と台高山脈の間に位置する山間の村で、良質の吉野杉の産地です。村の面積の95%が山林で、源泉温度が30℃以上の温泉があるほか、鍾乳洞や滝、トガサワラ原生林など、豊かな自然に恵まれた村です。吉野川（紀の川）の水源であり、大迫ダム、大滝ダムという2つのダムが造られました。村は環境基本条例を制定し、三之公原生林を購入して保護するほか、水源の村として下流へきれいな水を届ける政策を進めています。

一方で、「村づくりは人づくり、人づくりは教育から」を理念に、教育に手厚い取組を進めています。令和6年4月、川上産材を使った木造3階建ての義務教育学校「かわかみ源流学園」が開校しました。保育園・こども家庭センターも併設され、子育て支援の拠点化を図っています。本校では、「自分の頭で考えて適切に行動できる子」を目標に、心豊かで自発的な人が育つ教育を目指しています。

校長 森田 敏子



## (公財) 日本教育公務員弘済会奈良支部

〒630-8012 奈良市二条大路南1丁目2番11号第2松岡ビル7F

TEL 0742-35-3301  
FAX 0742-35-3302



奈良県教育委員会  
教育長 大石 健一  
(奈良教弘顧問)

子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出すために

令和6年度は、「教師にゆとりを！こどもに笑顔を！プロジェクト」として、スクールカウンセラーや学習支援員、教育業務支援員等の配置を拡充しました。今年3月には、「第3期奈良県教育振興大綱」を策定し、「一人一人の可能性を最大限に引き出す教育～郷土奈良に誇りをもち、新たな価値を創造する力と、たくましく生きる力を育む～」を県がめざす教育の方向性と位置づけました。子どもたちの可能性を最大限に引き出すために教育が果たす役割は大変重要であると思います。子どもたち一人一人の個性や能力を発揮することができる教育の実現のため、教職員一人一人が力を十分発揮できるよう、引き続き、教職員の働き方改革を推進していくとともに、教育環境の整備に取り組んでいきたいと考えています。

奈良教弘では、「最終受益者は子どもたち」であることをスローガンに、様々な事業を通じて、教育の充実・発展と教職員の福祉の向上に取り組んでおられます。奈良教弘とともに、子どもたちの未来を拓く教育に取り組んでいきたいと思ひます。

## ごあいさつ

日本教育公務員弘済会奈良支部  
支部長 辰巳 政人



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は奈良教弘の活動にご理解ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、奈良教弘は設立以来、「助け合い」の精神を大切に、教職員の皆様の生活と福祉の向上、教育振興に努めてまいりました。昨今、教職員を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、奈良教弘はジブラルタ生命保険株式会社との連携のもと、時代のニーズに合わせた事業を展開し、皆様をサポートしてまいります。今後とも、会員の皆様からのご意見をいただきながら、より一層魅力的な事業を展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

顧問	大石 健一	県教育長
----	-------	------

選考委員	杉岡 博幸	元公立中学校校長
	浅田 重義	元県立高等学校校長
	辻本 雄一	元公立小学校校長
	松本 哲志	元国立小学校校長

幹事	小谷 隆男	県教育次長
	井上 直規	公立中学校校長
	井上 久世	公立小学校校長
	子守 秀典	公立小学校校長
	鶴原 龍弘	国立小学校教諭
	和田 江利子	県国公立幼・こ園長会会長
	水谷 雅美	県小学校長会会長
	林田 晃典	県中学校長会会長
	岡田 禎之	県高等学校等校長協会会長
	室田 智子	県特別支援学校長会会長
監査	山田 均	元公立小学校校長
	梅田 真宏	元県立特別支援学校校長

論文審査	棚橋 尚子	奈良教育大学教授
	市原 敬子	県立高等学校校長
	小山 篤史	公立中学校校長
	前田 雅起	公立小学校校長

友の会	大橋 美子	元公立小学校校長
	乾 浩章	元公立中学校校長
	松本 修己	元公立中学校校長



運営委員	煤原 敏男	公立中学校校長
	楠 利夫	公立中学校校長
	千葉 暁	公立中学校校長
	松塚 佳也	公立中学校校長
	安原 直彦	県立高等学校校長
	徳永 貴己	公立中学校教頭
	中島 駿	公立中学校教諭
	吉田 誠剛	公立小学校長会評議員
	森本 吉昭	公立小学校長会評議員
	谷口 亜由紀	公立小学校長会評議員
	児島 康紀	公立小学校長会評議員
	香美 秀央	公立小学校長会評議員
	東浦 一也	公立中学校長会支部長
	増田 一成	公立中学校長会支部長
	福仲 慎司	公立中学校長会支部長
	奈加 晃典	公立中学校長会支部長
	山崎 正悟	公立中学校長会支部長
	泰平 正隆	県公立小中学校教頭会
	中尾 考周	県高等学校等教頭協議会
	的場 亜矢子	県公立小中学校事務研究会
田中 健一	県公立学校事務長会	
藤原 正憲	県公立高等学校事務職員協会	
辻 誠	県小・中・高生徒指導連絡会	
森 三恵子	県養護教育研究会	



# 2024年度事業報告 (概要)

## 教育振興事業

### 奨学事業



- 貸与奨学金・・・・・・・・・・ 8名 650.0万円
- 給付奨学金 (高校生等)・・・・・・ 59名 295.0万円
- 給付奨学金 (大学生等)・・・・・・ 4名 576.0万円

▶ 私には大学3回生の姉と高校2年生の妹がいます。大学3回生の姉は今年交換留学が決まり、そのための費用に加えて高校2年生の妹の学費や進学費用が必要となるため、家計に負担がかかります。大学ではアルバイトをするつもりですが、通学に時間がかかることや、勉学にも力を入れたいと考えているので、家計の負担を減らすため、奨学金を申請します。

▶ スポーツ栄養学を学びアスリートのサポートをするために大学で栄養士の資格を取得します。そのための授業料として、奨学生制度を利用して家計を助けるために申請します。

▶ 私の母は、1年半前に肺がんで亡くなり、今は父の収入だけで生活しています。私は双子で姉は大学進学、妹の私は専門学校進学、弟は高校進学と今まで以上にお金がかかります。家のこともあり、就職も考えましたが夢をあきらめきれず進学しました。家計をすこしでも助けるため奨学金を申請します。

▶ 両親は自営業なので不安定であり、さらに父は高齢で、病気も抱えています。私は3人兄弟の末っ子ですが、できるだけ経済的負担をかけなくて済むように奨学金を申請します。

### 教育研究助成事業

- 教育研究実践論文・・・・・・・・・・ 応募12編 44.0万円
- 学校教育研究活動助成・・・・・・・・・・ 89校 540.0万円

生徒会が主体となり「国際らしさ」の発見をテーマにした研究活動を実施しました。本研究は、学校の特有な教育理念と実践を探究し、その成果を基に学校独自のグッズを開発することで、「国際らしさ」を具体的に具現化し、内外に広く発信することを目的としています。生徒会メンバーが中心となり、グッズの開発計画を立案。議論の結果、クリアファイルを作成することに決定しました。クリアファイルは、学校の国際教育の特徴を象徴的に表現し、学校のアイデンティティを強化する役割を担うことが期待されました。(中略)本研究活動を通じて、生徒たちは創造力や問題解決能力を実践的に鍛えることができました。グッズのデザインと製作を通じて主体的な学びを実現し、多文化理解や国際意識を向上させる成果を得ました。(県立高等学校)

- 教育研究団体助成事業・・・・・・・・・・ 13団体 140.0万円
- 教育研究大会助成事業・・・・・・・・・・ 4大会 25.0万円

### 教育文化事業



- 花いっぱいプレゼント・・・・・・・・・・ 345校園 133.1万円
- 奈良教弘文庫助成・・・・・・・・・・ 142校園 599.0万円

講談社文庫(大活字本)は、児童の年齢や興味・関心に合わせた幅広いジャンルの作品を揃え、読書の楽しさを味わえるようにしました。点字付き迷路は、障がい者理解の学習を進めていくことも念頭に用意しました。防災関連図書(LLブック)は、災害に対する知識を深め、いざという時に役立つ情報を提供できるよう充実させました。これらの図書購入の結果、児童の読書意欲の向上、読書環境の整備、読書活動の活性化という効果が得られました。特に、低学年児童においては、絵本の種類が増えたことで、より積極的に図書を手に取るようになりました。また、学校だけでなく、家庭においても保護者と一緒に読書をする「家読」運動を展開し、読書の楽しさを共有する機会を増やしました。(中略)奈良教弘のご厚意により、本校の図書室は大きく発展いたしました。この度の補助を励みに、今後も児童の読書活動を支援し、豊かな心を育む教育を進めてまいります。(T小学校)

### 福祉事業

- 満50歳祝金・・・・・・・・・・ 55件 16.5万円
- 結婚祝金・・・・・・・・・・ 83件 83.0万円
- 出産祝金・・・・・・・・・・ 87件 43.5万円
- 弔慰金・・・・・・・・・・ 11件 11.0万円
- 宿泊補助・・・・・・・・・・ 21件 6.3万円
- 人間ドッグ補助・・・・・・・・・・ 764件 229.2万円
- 観戦鑑賞見学補助・・・・・・・・・・ 388件 116.4万円
- 応援キャンペーン・・・・・・・・・・ 7回 188.7万円
- バスツアー・・・・・・・・・・ 45名 37.8万円
- 劇団観劇(中止)クーポン・・・・ 28名 7.5万円
- 新喜劇観劇・・・・・・・・・・ 100名 28.0万円

この度は、人間ドッグ受診の補助をいただき、誠にありがとうございます。健康診断の結果を真摯に受け止め、生活習慣の改善に努めたいと思います。今回の受診は、私自身の健康だけでなく、家族のためにも、そして学校に貢献するためにも、非常に貴重な機会となりました。心より感謝申し上げます。(奈良市 N)



## 令和6年度 日教弘教育賞 奨励賞 受賞者ご紹介

この度、奈良教弘の研究論文で優秀賞を受賞された3作品が、令和6年度日教弘教育賞におきまして、奨励賞を受賞されました。受賞されました皆様の教育に対する熱意と、日々の教育実践における創意工夫は、他の教育関係者にとっても大いに参考となるものであり、今後の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 【学校部門】 辻本 浩 先生 奈良市立二名小学校

主体的・対話的で深い学びの授業づくり ～こどもの つぶやき たからもの～

主体的・対話的で深い学びの授業づくりを目指し、子どもの「つぶやき」を重視。地域との繋がりを活かした生活科・総合的な学習を実践した。教職員の共通理解、系統的な授業構築、地域資源の活用を重視し、各学年で地域を題材とした探究活動を展開。子どもたちの興味関心に基づき、地域課題の発見や解決に繋げることで、主体的な学びと地域への関わりを深めることができた。



### 【個人部門】 永野 潔 先生 奈良県立高等養護学校

「二者関係作り」を中心とした会話が苦手な高等学校男子生徒へのアプローチ



会話が苦手な高校生A君への「通級による指導」の実践報告である。A君との親和的な関係性を築くため、教員NKは自己開示やゲームを通してA君の安心感を育んだ。さらに、グループワークやSST、ブレインジムなどを段階的に導入し、A君が他者との関わりを深められるよう支援。その結果、A君は教師やクラスメイトとのコミュニケーションに変化が見られ、自己表現もできるようになった。関係性を基盤とした個別指導の有効性を示す事例である。

### 【個人部門】 吉竹 裕章 先生 奈良県立奈良商工高等学校

移動式ロボットによるプログラミング的思考を育む授業

奈良商工高校情報工学科における、移動式ロボットを用いたプログラミング教育の実践報告である。技能五輪への出場を目標に、課題研究を通して生徒の課題発見・解決能力、プログラミング的思考を育成。若年者ものづくり競技大会の見学や地域貢献活動を通して生徒の視野を広げ、学びを深めた。結果、生徒たちは目標達成へのプロセスを理解し、実践的なプログラミング能力と社会性を身に付けることができた。



2025年度

# 教育研究実践論文募集

学校の実態と児童生徒の発達段階を踏まえた教育研究実践論文を募集し、学校・教職員を表彰します。多くの先生方からのご応募をお待ちしています。

文章量はA4用紙

4枚

詳細は奈良教弘HP



募集期間

4/1～8/8

審査  
10月

賞金

- ・学校研究部門  
優秀賞(10万円)  
奨励賞(5万円)、入選(2万円)
- ・個人・グループ部門  
優秀賞(5万円)  
奨励賞(2万円)、入選(1万円)

優秀賞論文のうち優れた論文を  
日教弘教育賞に推薦



過去論文集はHPに掲載しています。  
<https://www.narakyoko.com/co/?work=ronbunsyu>

## 学校担当者の 素敵な出会いに感謝して

### やさしさがつなぐご縁

私をご紹介しますのは、奈良県立奈良西養護学校の安田 奈津希先生です。安田先生との出会いは、とても印象に残るものでした。十数年前の事ですが、学校担当者としてのご挨拶と記念品のお渡しがあり、訪問いたしました。

初対面にも関わらず、とても親切、丁寧に接して下さる印象でしたが、驚いたのがその数日後でした。私宛に、安田先生からお礼の手紙が届いたのでした。お心遣いに、嬉しい気持ちと同時に気が引き締まる思いだったことを、覚えていきます。

その後も、お会いする度にお礼や感謝のお言葉、時には励ましのお言葉をくださいます。私自身も、そういう担当者でありたいと思わせて下さる安田先生に心から感謝いたします。今後とも、よろしくお願いいたします。



奈良県立  
奈良西養護学校  
安田 奈津希 先生

ジブラルタ生命  
奈良第三営業所  
姫野 洋平

### 新採記念品贈呈式での出会いから

私をご紹介しますのは、奈良市立登美ヶ丘中学校の大塚登紀先生です。大塚先生との出会いは、昨年の新採記念品贈呈式でした。第一印象は「爽やかなスポーツマン」。帰宅部出身の私にはとても眩しく映りました。

当初から「こんな授業をしたい」といった想いもお聞きしており、今後の活躍をととても期待している先生です。海外への旅行が趣味ということでエジプトやトルコの話も面白く聞かせていただきました。経験豊富な先生ですから、きっとクラスでもその体験を存分に活かされているのではないかと思います。

野球部の顧問でもあり、なかなか放課後会えないことも多いですが、またゆっくりお話しできるときを楽しみにしています。



ジブラルタ生命  
奈良第二営業所  
石口 哲平

奈良市立  
登美ヶ丘中学校  
大塚 登紀 先生

## ジブラルタ生命 学校担当者エピソード

田舎暮らしと仕事の両立  
～教弘保険への感謝と未来への決意～



五條営業所  
中坊 弘子



### ■ 保険業界への転身

大阪から奈良へ移り住み、田舎生活に馴染めずに悩んでいた頃、以前校長をされていた舅の教え子で、協栄生命保険五條営業所の所長をされていた方から声をかけていただきました。土日休みで自由な働き方ができる営業の仕事に魅力を感じ、姑に幼い3人の子供たちの面倒を見てもらい、働くことを決意しました。

### ■ 協栄生命での成長

一年目は大変な日々でしたが、子供たちの成長とともに働く時間も増え、3年目からは班長として後輩2人と活動し、遠方の学校へ行く機会も多く、楽しく勤務することができました。6年目には主任となり、後輩とペアで活動。8年目には大和高田支部へ転勤し、5年間営業所長として勤務しました。その後、香芝、難波、五條の営業所で管理職として働くことになりました。

### ■ ジブラルタ生命への挑戦と教訓

姑の介護のため、2004年4月からジブラルタ生命保険のライフコンサルタント(LC)として働くことになりました。当初は顧客も少なく、担当学校も2校のみで、育児と介護で時間も制限される中、苦労の連続でした。「苦しみは成長し、失敗は考えるチャンス」と自身を励まし続けました。そこで学んだのは「自由な時間を大切に、計画を立て、目標に向かって実行すること」でした。その結果、多くのお客様に恵まれることができました。

### ■ 教弘保険への感謝と今後の決意

48年間、家事と仕事を両立して働くことができたのは、学校現場で働く教職員の皆様、そして「教弘保険」のおかげだと深く感謝しております。これからもお客様に寄り添い、安心と信頼をお届けできるよう、精一杯努めてまいります。

### ■ 五條営業所の仲間たちと未来へ

五條営業所の社員は思いやりがあり、皆で楽しく元気に働いています。これからもよろしくお願いたします。

共済事業(提携保険事業) 提携保険会社

**ジブラルタ生命保険株式会社**

本社 / 〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10  
コールセンター

電話  
0120-37-9419

ジブラルタ生命のホームページ <http://www.gib-life.co.jp>